



八王子地本申第4号

「現業機関における柔軟な働き方の実現に向けた、統括センターの設置に関する申し入れ」

団体交渉を行う！！その②

組合

6. 手当等が伴う担務においては、「業務の融合」ならびに他の担務との「兼務 や連携」を行わないこと。担当する業務は、主たる業務を含め2つまでとすると共に、月の半分以上は主たる業務に就かせること。また、本部・本社間の議論経過に踏まえ、他の統括センター・営業統括センターの兼務発令は行わないこと
兼務発令は提案時から変更はないか
本部本社間の交渉で営業統括センターから統括センターの兼務は「現実的ではない」となっているが兼務者はどんな業務を行うのか。営業統括センターから統括センターへの兼務はしないのか？
7. 豊田統括センターの日野駅を本体運営にする目的と、運営体制について明らかとすること。
エルダー雇用のミッション、時間軸とはなにか？
日野駅は現行の2 轍体制は変わらないのか。
豊田統括センターの社員が日野駅で業務をするのか。
コールセンターの取り扱いやなど疑問が多く発生している。運営体制をもっと明らかにするべきだ。
8. 設備職場と統括センターの連携における変化点を明らかにすること。
変化点についてより具体的な回答を。このレベルアップとはどういうことか。
例として三鷹保線技術センターの社員が三鷹統セに兼務発令の場合八王子統括センターからの協力依頼に対応することもあるのか。多くの箇所から問い合わせが多くなることが予想される。職場段階での問題意識だ。受け止めてほしい。

会社

6. 柔軟な働き方を実現していくために、系統や事業分野を超えた業務の融合や、兼務・連携はこれまで以上に進めていく考えである。なお、社員の運用については、業務上の必要性に基づき、任用の基準に則り取り扱うこととなる。
兼務発令は提案の時のものと変わらない。
兼務をすることでイベントや除草等を行うことがある。営統セから統セへの兼務発令はない。
人手が足りないという理由の兼務ではない。
7. エルダー社員の雇用のミッション等の課題を踏まえて推進してきたこれまでの業務執行体制構築の考え方のみならず、従来の考え方によらず、時間軸を意識して、今後の業務執行体制を構築していく必要があり、運営体制を見直したものである。
国鉄採用が今年度で退職し、シニア雇用の場として業務委託を拡大したが運営体制を見直していく。
体制については豊田統括センターで示している数の通りだ。
JESS 移管の際に逆出向で対応した。逆出向を受けることもある。
決まり次第しっかり社員周知を行っていく。
→確認
8. 連携をさらに進め、エリアの課題解決・新たな価値創造に取り組んでいく。
より企画業務をスピードアップしていけるように継続してエリア課題解決に設備系統も参加してもらいたい。これまでよりレベルアップしてもらいたい。大きな変更はない。
レベルアップとはチームリーダーという役職を設けよりユニット活動の分担を担っていく。
企画業務において判断する階層を少なくして意思決定のスピードアップを図っている。

その③へ続く